

様式第3号(第8条関係)

「みどり市過疎地域持続的発展計画（素案）について」パブリックコメントの結果

☆意見等の募集期間： 令和 3年 7月 5日 ～ 令和 3年 7月26日

☆意見等の受付件数： 1人、6件

(提出方法の内訳：郵便等 0人、ファクシミリ 0人、電子メール 1人、持参 0人)

1 ご提出いただいた意見等を内容により整理し、意見等の概要を掲載します。

(1) 「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>子育て世代が利便性の高い地域に流出してしまう大きな原因は仕事がない、通勤が大変ということである</p> <p>現在テレワークを推奨している会社も多い。そういった人を対象に移住を勧める事も地域活性化に繋がる。</p> <p>空き家のリフォーム補助や新築補助、子育ての補助金などの手当てを支給する。</p>	<p>働き方改革や新型コロナウイルス感染症の拡大により、有効な働き方としてテレワークが着目されております。</p> <p>テレワークに必要となるインターネットは光ファイバーでの高速通信が利用可能となっている状況であり、個人で事業者と契約することで利用可能となっておりますので、「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 (2) その他対策」に記載してあるとおり、移住希望者に対して有益な移住情報として積極的に発信します。</p> <p>また、この光ファイバーは、「4 地域における情報化」に記載してあるように、市が整備していることから、今後も安定した利用が可能となるよう適切な保守管理をして参ります。</p> <p>空き家対策に関しては、空き家バンク制度により空き家の利活用を促進しているほか、改修等に対する補助金の交付を行っています。</p> <p>子育てに関しては、児童手当や児童扶養手当等を支給するほか、第3子以降に紙おむつ等の給付をしております。</p>

(2) 「3 産業の振興」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>観光資源は多くあるが今ひとつ上手く活かされていないように思う。</p> <p>駅に電車の撮影をする人が休日は多く集まるが、車で道路を塞いだり、危ない行動も見られる。ゴミを置いていくなど悪影響もある。無人駅の為管理が難しい。そのような観光客に大切に思ってもらえるような駅や場所にしていけると良いと思う。</p>	<p>当市には様々な観光資源がありますが、点在する観光資源の周遊が課題となっております。</p> <p>観光振興は民間の活力も必要となりますので、関係団体と協力し課題解決に取り組んでいきたいと考えます。</p>

(3) 「5 交通施設の整備、交通手段の確保」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>生活用品、食品の買い物が大変である。高齢化と共に運転を辞めたり、足腰が弱まり買い物に苦労している人は多い。バスの本数も少ない。わた溪の駅へ行くにも長く歩かなくてはならない。</p> <p>そういった買い物弱者をなくす為にも移動販売車の運用や買い物タクシーなど積極的に検討して欲しい。</p> <p>特に沢入には1軒も店がない。</p>	<p>わたらせ溪谷鐵道や東町路線バスについては、地域住民や観光客に多く利用されておりますが、高齢者が駅やバス停までの移動が困難であることは課題としてとらえております。</p> <p>東町では、NPO法人「グループ28」が公共交通空白地有償運送としてデマンドタクシーを運営しており、自宅から目的地への送迎の支援をしております。</p> <p>また、要介護認定を受けた高齢者の方を対象に交付している福祉タクシー券もご利用できます。</p>

(4)「7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>一人暮らしの高齢者が孤独感を感じたりしないよう色々な世代の人達が気軽に集まれるようなコミュニティの場所もあると良いのではないかと思います。</p> <p>東地区の中でも特に沢入地区は人口も減り児童は少なく、高齢化が顕著な地区であるので沢入の住民が安心して暮らせるような配慮をお願いしたい。</p>	<p>老人福祉センター（まごころ）において、入浴、カラオケ、娯楽活動などを行い、高齢者が中心ですが、集いの場となっています。なお、施設から遠い方については専用バスによる送迎を行っています。</p> <p>また、各地区集会所等において、介護予防教室「遊ビリサロン」を2か月に1回開催しています。地区のボランティアの方との交流もあり、楽しみながら身体を動かし自然に笑みがこぼれる”遊ビ”を取り入れ、機能維持・向上を目指して開催しています。</p> <p>要介護認定を受けたひとり暮らし高齢者の方を対象に、家庭内での突然の事故や急病等の際、簡単な操作で消防署に連絡できる「緊急通報装置」を給付等しています。</p> <p>また、万が一の火災に備えることで安心した生活を送れるよう、低所得ひとり暮らし高齢者等を対象に「火災警報器」を給付しています。</p>

(5)「8 医療の確保」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>安心して通院出来る病院が近くにない事。沢入の診療所がなくなりだいたい経つ。</p> <p>黒保根町の診療所も3月に閉鎖となり、かかっていた人は必然的に遠い場所の通院先を見つけなければならなくなった。高齢者にとっては精神的にも肉体的にも苦痛である。安心してかかれる病院が地元でない事は非常に不安である。</p> <p>定住を促す為にも東地区の住民が通いやすい場所にどの世代でもかかれる病院（診療所）を作って欲しい。</p>	<p>現在、東町区域には花輪診療所とあずま歯科クリニックの2つの診療所が開業しており、現時点では新たな病院（診療所）を整備する予定はありませんが、救急医療体制の整備・充実を図れるよう関係医療機関と連携してまいります。</p>

(6) 「9 教育の振興」についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>東町は高齢化が進み子どもの数が少なくなってきた。</p> <p>保育園は東に通園しても就学の為大間々、桐生に転居、または東に住み大間々地区の学校に通学している状況で非常に残念である。</p> <p>現在の東小中学校は少人数ではあるが一人ひとりに目が行き届き学習面でも色々な学習を取り入れ、少人数のメリットを活かし良い教育が出来ているのではないかと思う。</p> <p>少人数のデメリット、過疎という不利はあるが、これ以上児童数を減らさない為に笠懸、大間々地区に通学している小中学生で、学校に居場所がない子ども、不登校児童を東地区への通学を薦めてみてはどうか？</p> <p>現在の東の学生の中に入りづらい子には、フリースクールを併設するなど。その際に通学バスを運行する。</p> <p>または他の自治体でも実施している都会の児童を一定期間預かる山村留学も行えるのではないか。今ある公共施設を宿泊場所にしても良いし、ホームステイなども考えられると思う。東の子ども達にとっても刺激になり、他から来る児童にとっても色々な人との関わりは社会性を育てる上で大切であるので、お互い利点があると思う。</p> <p>東の学校がより魅力のある学校になれば、東に住む子育て世代の流出を防げるのではないか。通学バスの運転、山村留学の施設スタッフは地元の人々の雇用に繋がる。</p> <p>子ども、教育にお金をかける事は東の未来にとって有益な事である。</p>	<p>令和4年4月に9年制義務教育学校のあずま小中学校（仮称）が新設されることに伴い、特認校として希望者は市内全域からの入学を認める方向で検討しています。可能な限り多くの児童生徒や保護者にあずま小中学校（仮称）のよさを知っていただくように働きかけをしていきたいと考えております。</p> <p>小規模校ではありますが、児童・生徒は、現在でも縦割り班活動や小中合同行事、市内他校とのweb交流授業等の実施により、貴重な交流機会を多く体験できる状況にあります。</p> <p>フリースクールの開設や山村留学について、現時点での予定はありませんが、自然豊かな東町地域の特性を生かせるよう、他の自治体の状況を参考にしながら、今後の検討材料とさせていただきます。</p>

☆問い合わせ先： 東支所 東市民生活課

TEL： 0277-76-0984

FAX： 0277-97-2221

電子メール： minsei-a@city.midori.gunma.jp